



おにさんこんにちは☆

はにゅうしりつとしょかん

【せつぶん】

<p>「ふくはうち」 中川ひろたか/文 自由国民社 E/オ</p> <p>2月はあなたにとって特別な月！厳しい寒さに耐えて冬から春へと変わりゆく2月。女の子がお父さんが豆まきをしていると…。お誕生月のできごとを楽しく描いた絵本。</p> 	<p>「せつぶんだまめまきだ」 桜井信夫/作 教育画劇 E/ギ</p> <p>昔、冬から春へと変わる頃に、人々は豆をまき、悪い鬼を追い払うことを始めました。そんな節分の行事の由来をお話で紹介する絵本。</p> 
<p>「せつぶんセブン」 もとしいづみ/作 世界文化社 E/セ</p> <p>節分の日にやってきた「せつぶんセブン」。子どもたちといっしょに鬼のお面作り。豆を入れてもらって鬼の役と豆まきの役に分かれたら…。</p> 	<p>「まめまきできるかな」 すとうあさえ/作 ほるぶ出版 E/ハ</p> <p>今日は節分。豆をまいて、おにを追い払う日です。まこちゃんは豆をまく練習をしていますが、うまくできません。どうしたらいいのでしょうか？</p> 
<p>「ねこまるせんせいとせつぶん」 押川理佐/作 世界文化社 E/ネ</p> <p>ねこまる先生は「ごきかえん」の見習い先生。今年の節分はねこまる先生が鬼の役になって子どもたちからの攻撃から逃げ回ります。さて、何がおきるのでしょう？</p> 	<p>「せつぶんのおに」 常光徹/文 童心社 E/セ</p> <p>はたらき者のふくが婿をとることになったことを知った鬼が山奥からやってきてふくを連れて行ってしまった。となりの兄さんが酒を持って助けに行き…。</p> 

【おに】

<p>「おにのパンツ」 鈴木博子/構成・絵 ひさかたチャイルド E/オ</p> <p>鬼がパンツをはいたらね、楽しい歌がはじまるよ！さあ、鬼たちといっしょに、げんきに歌っておどっちゃおう！わらべうた「おにのパンツ」の楽しい絵本♪</p> 	<p>「オニのきもだめし」 岡田よしたか/作 小学館 E/オ</p> <p>オニだっておぼけはこわい。「いややな。こんなくらいみち。なんかおぼけでそうやなあ」家路を急ぐ、ふたりの赤オニ。彼らに起こった世にもおそろしいできごととは？</p> 
<p>「おにまるのヘリコプター」 きしだえりこ/作 ブッキング E/オ</p> <p>雲の上に住むおにの子のおにまる。ヘリコプターに乗って空から降りてきては牧場にいる子ヤギ、お菓子やさんのアメと欲しいものをいろいろもたせて帰るのですが…。</p> 	<p>「おにぎりがしま」 やぎたみこ/作 ブロンズ新社 E/オ</p> <p>こたろうが見つけたおにぎりから生まれた小さな鬼の「おにぎりおに」。「おにぎりおに」はあつという間に稲を育て、米を作り、大きな釜でごはんを炊き始め…。</p> 
<p>「おにのおふろや」 荻田澄子/作 鈴木出版 E/オ</p> <p>家のおふろが壊れて、そうたは初めておふろ屋さんに行った。とびらを開けたら、そこにはたくさんのおにたち！家よりうんと熱いお湯につかるとそうたにツノが生えてきて…！？</p> 	<p>「オニのサラリーマン」 富安陽子/文 福音館書店 E/オ</p> <p>赤鬼のオニガワラ・ケンは、地獄カンパニーのサラリーマン。毎日ビシッとスーツで決めて満員バスで出勤します。今日の仕事は亡者たちの見張りですが…。</p> 
<p>「泣いた赤おに」 浜田広介/作 あすなろ書房 E/ナ</p> <p>青おにのおかげで、人間と仲良くなれた赤おに。そのかげで青おには…。見返りを求めず、ただ友の幸せだけを願う青おにの姿が胸を打つ、悲しくもあたたかいおはなし。</p> 	<p>「鬼のおっぺけぼー」 夢枕獏/作 講談社 E/オ</p> <p>羅城門へむかう牛車の前を歩く子どもの陰陽師安倍清明のところへ、雲の中から鬼のむれがやってきた。このままではみんな食われてしまう…！</p> 